



みんなで名所をバスぶらり旅

5月15日、子育て世代を対象にした「ねやがわちゃいんどバスツアー」が開催されました。望が丘ランチや中央図書館など、市内の魅力的なスポットを巡るもので、途中にはランチタイムも。参加者同士が交流を深め、楽しんでいました。秋にも開催予定のバスツアーをお楽しみに！



外来のベニヒキヨモギ淀川で初確認

紅紫色の花鮮やか

地中海沿岸が原産のベニヒキヨモギが市内の淀川河川敷で初めて確認されました。

日当たりのよい草地を好み、鮮やかな紅紫色の小さな花を咲かせます。国内では17年前に徳島市内で報告されており、市内では5月に市自然を学ぶ会のメンバーが花を付けたベニヒキヨモギを点野地区の河川敷で確認しました。花は6月頃まで見られるそうです。



パナソニックパンサーズの選手が市役所を訪問！

5月8日、パナソニックパンサーズ（男子バレーボールチーム）に所属する中村選手・伊藤選手・垂水選手＝写真左から＝が市役所を訪問しました。第72回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会で準優勝となった同チーム。今後の活躍に期待しています！



玉ねぎ収穫体験

今日のご飯はなんだろう？

4月23日、市立石津小学校2年生約30人が玉ねぎの収穫を体験しました。

食育の一環として石津校区協働協議会の皆さんが育てた玉ねぎで、子どもたちは、「今日はカレーかな」「これで玉ねぎスープにしよう」など、自分で収穫した玉ねぎを手に楽しそうな様子で、協議会の会長も「土にふれる機会をもっと増やしてほしい」とうれしそうに話されていました。



いしぶみ 碑

寿毫中司君碑（寿町）

旧郡村の旧家につながる中司庄吉氏と良吉氏親子の功績をたたえる碑で、明治40年に建立されました。寝屋川市史などによると、庄吉氏は幼い頃から書を学び、塾を開いて40年以上にわたり指導。79歳で亡くなりましたが、息子の良吉氏も父親の思いを継ぎ、市立北小学校の前身の友呂岐小学校の教員として子弟教育に尽くしました。

碑は教える9人が発起人となって香里園駅前建てられ、その後、友呂岐神社の境内に移転。昭和49年に創立100周年を迎えた北小学校の玄関脇に移されました。

碑に刻まれた「寿毫」は庄吉氏の雅号。「壽」は祝いの言葉。味があり、書家の父子をたたえる碑銘に使ったとみられます。



白い花ひっそり咲く

希少植物のギンラン

全国的に数が減っているギンランが市内で今年も白く可憐な花を咲かせました。

自生のギンランが落ち葉の間から芽を出し成長。4月から5月にかけて茎の先に数輪の小さな白い花を付けました。栽培が難しく、「府レッドリスト2014」で絶滅危惧種に指定されており、カメラに収めた市民は「大切に見守り、少しでも増えてくれればうれしい」と話しています。



大輪のバラがお出迎え

市役所の正面玄関付近で、市の花でもあるバラが見ごろを迎えています。

定番の赤いバラだけでなく、白、黄色、ピンクなど、色とりどりの花がズラリ。華やかな見た目と香りで、来庁者をお出迎えしていました。